

生薬（芍薬）の分析

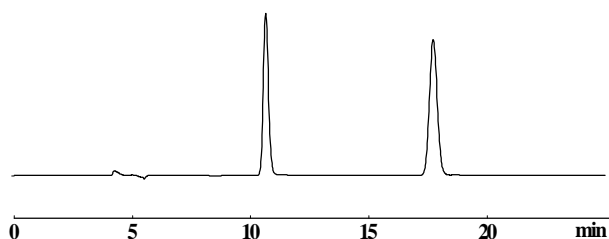
Paeoniflorin, p-Hydroxyacetophenone

生薬である芍薬の有効成分のペオニフロリンは鎮静、鎮痛、抗炎症、血圧降下、血管拡張、平滑筋弛緩作用が認められています。

日本薬局方で収載の芍薬中ペオニフロリンの定量法である液体クロマトグラフ法ではペオニフロリンとp-ヒドロキシアセトフェノンの分離度が3以上の ODS カラムの使用が指定されています。

ここでは日本薬局方に準拠した方法で抽出～分析を行いました。

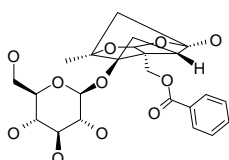
【標準品】



Analytical Conditions

Column	: L-column ODS 4.6mm × 150mm
Mobile phase	: CH ₃ CN /Water=20/80
Flow rate	: 0.4mL/min
Temp.	: 20
Detector	: UV230nm
Injection volume	: 10μL
Sample	: Paeoniflorin : p-Hydroxyacetophenone (0.1mg/mL each)

【芍薬中のペオニフロリン】



Sample : 芍薬抽出液
(日本薬局方準拠による抽出)

